レクチン製品

MAM　イヌエンジュレクチン	
MAM－Biotin	Code：J210　　Pkg.：1mg ・　製品形状 凍結乾燥品（塩フリー） ・　保存 4℃で 1 年間安定 ・　用途 糖タンパク質糖鎖の染色、検出

●起源	イヌエンジュ（*Maackia amurensis*）
●糖特異性	Siaα2-3Gal
●マイトージェン活性	あり
●血液型特異性	非特異
●構造	アミノ酸配列から分子量約 31,000[1]。サブユニット間の結合はジスルフィド（S-S）結合。最近では MAM の一価単量体が調製され、フローサイトメトリーなどへの応用が報告されている[2]。
●特徴	イヌエンジュ種子から精製した白血球凝集能の高いレクチン MAM の結合には Siaα2-3Galβ1-4GlcNAc の糖配列が必要で、また N-アセチルラクトサミンの繰り返し構造は、結合を増強させると報告している[3]。よってα2-3 結合シアル酸を持つ 3 本鎖、4 本鎖のアスパラギン型複合型糖鎖に強く結合する。Siaα2-3Galβ1-3GalNAc（ムチン型糖鎖）には結合しない。またα2-6 結合シアル酸にも結合しない[4]。イヌエンジュ種子の赤血球凝集素は MAH と呼ばれ、このレクチンは MAM とは対照的にムチン型糖鎖に強く結合する[5]。

文献

1) Yamamoto, K., Konami, Y., et al., 糖質シンポジウム講演要旨集, 16, 124 (1994)
2) Shibuya, N., Kaku, H., 糖鎖の構造・機能解析のための共通基盤技術の開発に関する研究（第 1 期）成果報告書 平成 3-5 年度, 252 (1995)
3) Knibbs, R. N., Goldstein, I. J. et al., *J. Biol. Chem.*, 266, 83 (1991)
4) Wang, W., Cummings, R. D., *J. Biol. Chem.*, 263, 4576 (1988)
5) Konami, Y., Yamamoto, K., et al., 糖質シンポジウム講演要旨集, 15, 109 (1993)

株式会社 J-ケミカル

J-OIL MILLS GROUP

Copyright ©J-OIL MILLS GROUP. All Right Reserved.